

# タローの家

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 タロサ	代表者	長谷川 祐一	法人・事業所の特徴	医療連携が図られ、医療依存の高い利用者様も受け入れ態勢が整っている。緊急依頼にもリアルタイムで受け入れる体制を整備している。同じ事業所が近隣にあり連携や協力体制がとれている。
事業所名	よつくらタローの家	管理者	鈴木 勝則		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	3人	人	1人	1人	人	5人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービス評価の目的を全職員で共有し目標を明確にする。ミーティング等で具体的な対応案を検討しサービスの質の向上に努める。	サービス評価の目的と全職員で共有し、目標を明確にすることができた。サービスの質の向上を図るため、ミーティング等で対応策を検討し、統一した対応に努めた。	スタッフ間で話し合い、目的と目標を確認し共有されている。また全職員で共有するためミーティングを行い、対応策についても検討し統一した対応ができていると思います。	サービス評価の目的を全職員で再確認し共通認識を深める。検討した対応策は共有しサービスの質の向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染防止対策の徹底を図りながら、心地よい空間作りに努め季節を感じられるよう環境を整える。	施設内を季節に応じた飾りつけや行事参加毎にコーナー別に写真を展示し、居心地の良い環境作りに努めた。また、行事食を提供し季節を感じられる環境を整えた。	事業所内で過ごすことが多いと思うので各部屋に馴染の物や、感染があったとしても室内で退屈しない工夫が出来てとても良いと思います。	感染対策に留意し、年間行事計画を立案する。また季節を感じられる環境作りに努め、居心地の良い空間作りを確保する。
C. 事業所と地域のかかわり	感染状況や動向を把握し、感染防止に留意し医療機関や関係機関との連携を深め本人を支える。	コロナ禍において地域活動は自粛したため、かかわりを得ることは困難だった。しかし本人を支える為他の事業所や関係医療機関と情報を共有し連携を図ることができ、緊急時にもスムーズな対応ができるよう構築に努めた。	協力医療機関との連携もしっかり図ることが出来ていると思います。今後も高齢者が多いと思うので医療機関と連携はしっかり行ってください。医療との連携が図れている事業所だと思いますので利用者も家族も安心できると思います。	積極的に地域の資源を活用し、状態の変化にも即時的に対応できるよう整備し、柔軟な支援の提供に努める。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	本人の自宅や地域での暮らしぶりを把握し、地域の資源を活用しとぎれない支援に努める。	本人のこれまでの生活スタイルや人間関係については、本人や家族から情報を得て、必要に応じ地域の資源を活用し支援に努めることができた。	コロナ禍において面会や外出制限の中、地域に向くことは困難だと思います。本人を支える為、家族との関係がとぎれないよう密に連絡を取り、支援にあたられたと思います。	本人のニーズを把握し必要な支援のため、施設が持つ機能と地域にある機能を適合させ本人を支える支援に努める。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>感染防止対策、災害時の対応について情報を共有し改善策、対応策についても連携を深め検討する。</p>	<p>感染の動向を把握し感染防止対策や災害的の対応について検討し、情報を共有し確認することができた。</p>	<p>現在は開催も困難な状況にある中資料を通してしか活動内容が把握できませんが、避難訓練などはしっかり行っていると思います。今後も感染防止対策や災害時の対応について積極的な取り組みを継続してください。協力できることは協力したいとは思いますが。</p>	<p>感染状況や地域の活動内容を確認しながら、地域の声を傾聴し意見を運営に反映させサービスの質の向上を図る。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>感染防止対策に努め、消防計画に添い避難訓練を実施する。避難経路や内容を再確認しマニュアルを整備し全職員で共有し安全を確保する。</p>	<p>感染防止に留意し、消防計画に添い火災、地震、風水害、津波を想定し避難訓練を実施した。また避難経路はハザードマップで確認しマニュアルに追加整備した。</p>	<p>利用者は移動手段も大変でしょうから日頃からの訓練が必要かと思えます。これからも安全を確保するため感染対策や避難訓練により一層尽力をお願いします。</p>	<p>防災計画に添い、避難訓練を実施し防災、災害対策に取り組む。避難訓練時には地域の協力が得られるよう体制を整え、利用者様の状態や施設の構造について理解が得られるよう連携の強化を図る。</p>

# タローの家

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 2月6日 (月)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 鈴木・荻野・熊谷・サム・大野・新川

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	1人	9人

**前回の改善計画**  
 現状を踏まえた情報共有の見直しを行い、情報の共有方法を再検討し、しっかり伝わるように職員同士が互いに連携し報連相の徹底を行い支援を継続する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 ミーティングを通してしっかりと情報共有は行うことが出来たと思う。出席していない職員はミーティング記録を見てサインを行うようにし把握できるように努めたが、まだ職員同士での横の連携がうまくとれていないこともあり後から「知らなかった」「聞いていなかった」など意見が出ることもありうまく連携が図れていないと感じたこともある。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7			9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7			9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7			9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7			9

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 常に朝のミーティングを行い利用者の現在のニーズ、必要とするサービス、本人だけでなく家族への支援も大事なことを共有することができた。特に新規で利用開始した際の利用者様への対応など共有は出来た。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 前回の改善計画の取組結果で記載した通り、その場のミーティングに参加した者は状況を把握出来たが、職員間の連携、共有、申し送り がうまく出来ずに利用者への対応が把握出来ない、同じ対応が取れなかったこともあった。  
 技能実習生や外国人労働といった環境や文化、意識の違いなどもあり、報連相の特に報告がうまく出来なかった。  
 ミーティングでの記録について手書きで読めないこともあり、確認しながら個人個人への説明が必要で手間がかかったしまった。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 職員間での連携が取れるように、ミーティング等の場を活かしてスタッフに説明し職員同士で報連相や連携が出来るように1人1人に意識付けをしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 2月 7日 (火)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 鈴木・大河原・佐藤・熊谷・サム・アミ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	人	人	9人

前回の改善計画

申し送り等を通して実践した内容を把握し全職員が同じ支援目標で対応を行う。その中でも状況に応じた対応も必要になることもある為、対応した内容は報告を行い全職員で共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

日々のミーティングにより状況に応じた対応はしっかりできたと思う。スタッフ個人個人での支援が違うこともありうまく連携が図れていないと感じることもあったが概ね連携は出来た。特に技能実習生に説明するのが難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	4	3		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	2		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	4		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	1		9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

支援目標を看護記録等に記載することで介護記録を書く際にすぐに利用者の目標の達成度について記入ができた。

関わった内容についてもミーティング等で発言を行うことで共有、課題、各スタッフの視点など皆で話し合う機会がとれた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

目標の必要性の理解について小規模で長い期間関わっているスタッフは分かっているが、技能実習生や外国人労働者への説明が難しいと感じた。業務優先でそういった理解について話し合いが少なかった。

記録の書き方について研修など取り入れる必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

目標に対して支援した内容、意見が良いものであればミーティング等で発言する機会を作りそれを全体で取り組む体制を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 2月 15日 (水)

3. 日常生活の支援

メンバー 鈴木・大河原・佐藤・サム・大野・アミ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	1人	人	9人

前回の改善計画
今後も継続して事前調査を行い、利用前に出来るだけの情報を把握、必要時にはこまめな連絡体制をとり対応することで利用時にスムーズな受け入れが出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
新規利用前に関係機関との連携を行っていくことで利用時にはある程度の必要な情報を収集して対応が出来た。利用前と利用後では情報には変化があることをしっかり把握すればもっとスムーズな支援が出来るのではと感じた。 コロナ禍では事前調査も制限があったりと今までの事前調査のスタイルでは把握困難なこともあり対応を変える必要も感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		7	2		9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	4			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	4			9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	5			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	4	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	その日その日の利用者の状態に合わせた食事形態の工夫や皮膚科受診での医師からの指示による入浴の行い方、排泄も立ち上がり状況では負担にならない介護を行うことが出来ている。 体調の変化には常に気を配り、食事中など特にスタッフを多く配置して見守りを行うなど変化に注意して対応ができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	本人の思いや聞き取りなど距離があった為うまくいかなかった。 安全性は必要なことだが、食事内容などについて本人は本当にこれで良かったのかなど疑問に思うこともあり、違った工夫で本人が満足出来るのでは思い、話し合いをもっと行うべきケースもあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	事前調査などで本人の暮らし方や今後必要であると思う支援の在り方などについて全職員で共有できるように、機会を設けていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 2 月 19 日 (日)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 鈴木・佐藤・竹永・大野・アミ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	2 人	2 人	人	9 人

前回の改善計画	
家族との関係が途切れないように面会室などを利用して少しでも多くの利用者様が家族とかかわりが持てるようにする。感染状況をしっかり把握しながら感染予防の徹底を家族や本人に説明しながら外出支援を行い地域でのかかわりが持てるようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
コロナで生活様式も変わり、面会などは面会室を活用、ドア越しでも電話を使用しながら声を聴きながら直接触れられないが、顔も見ながら声も聴きながら面会を行う工夫がとれた。外出なども感染状況が優先ではあるが、状況を把握、遠方から外出の希望があれば PCR 検査や体調確認、一時待機など不便はかけたが、一緒に外出など利用者も満足することが出来た。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	4	3	2		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	2		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	2		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	3	3	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	関わりは薄いですが、地域には民生員がいることなど、独居の場合特に民生員が安否確認など活動していることを確認することが出来た。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用開始になると宿泊、通いなどこちらでの生活が主になり本人の今までの生活などに着目することが出来ていないと感じた。 理解したことを事業所で活かせるような対応をどのようにして行うかの話し合いが少なかった。 ケアマネージャーなどは自宅訪問もあり自宅での様子を把握していると思うが、介護職としてはあまり接する機会がなく把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	本人の生活スタイルや人間関係、今までの暮らし方の把握についてもミーティング等で確認する機会を作り、その内容にそった支援を継続することができる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 2 月 21 日 (火)
------------------	-----	---------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	鈴木・大河原・佐藤・熊谷・サム・アミ・新川
----------------	------	-----------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	3 人	1 人	人	9 人

前回の改善計画	継続して小規模多機能型居宅介護の特性を生かしたニーズに応じた柔軟な支援を確立する。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模の特性を生かして、通いの延長利用や、急な宿泊対応などもしっかり支援することが出来た。安否確認や本人からの不安や希望などすぐに対応できるようにして柔軟に取り組むことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	5	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4	2		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	3	3		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	3	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人の変化については看護、医療、介護面など様々な状況をミーティングで話し合いを持ち、共有して対応が図れた。 柔軟な取り組みはしっかり出来ている。 隣接の小規模との連携やサ高住との連携など関連事業所だがうまくできた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 訪問が必要な場合の体制をもっとうまく取れればよかった。 どうしても自分たちの事業所での対応が多くなり、地域の資源が使用できなかった。 コロナ禍だから先だってニーズに対応が出来てないときもあったと感じる。 家族様との連絡調整が説明不足でうまくいかなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 感染状況を確認しながら利用者が使用していた資源や馴染の関係、小規模独自のサービスを用いて柔軟な対応を継続する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 2月 22日 (水)

6. 連携・協働

メンバー 鈴木・荻野・サム・大野・アミ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	3人	1人	人	9人

前回の改善計画	引き続き、地域の状況を見ながら地域の会議など行政等に確認しながら開催の際にはしっかり参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍で中々地域での会議など参加できなかったが、今年から少しずつだが責任者が地域での会議など参加することが出来るようになった。ただ地域での活動については感染リスクを優先せざるおえない状況が続き、参加を促されても断念するケースもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	1	4	3	1	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6	2	1		9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	5	3	1		9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	3	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 医師とは新規利用者の主治医対応などを通してACPを開催するなどして連携が図ることができた。地域包括支援センター主催の研修会やケアマネネットワークなどに参加した。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナの影響で福祉用具への会議参加は見送った。 他者を事業所に受け入れることは難しかった。 活動内容の把握や誰がどのように開催しているのかなど分からない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域での会議に参加し、地域での行っている活動を把握し、貢献できることは一緒に参加させてもらい、その活動内容についても職員が分かるようにミーティングで共有していく。
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 2月25日 (土)

7. 運営

メンバー 鈴木・大河原・佐藤・荻野・サム・大野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	人	人	9人

前回の改善計画  
 継続してミーティング等の開催時には全スタッフが気兼ねなく何でも話せるように工夫して対応する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 ミーティングでは発言できるように、内容を説明した上でどのような対応が必要かなど司会が聞くことで発言が多くなった。  
 支援内容や対応方法などについては積極的に発言が出来ている。  
 技能実習生などにはかみ砕いて説明も理解が出来ているのは把握困難なことも多かった。  
 漠然と「何かありますか」と質問すると意見が出てこないのもっとしっかり説明をすることも必要と感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	4		2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	4	1		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	5	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	2	3	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 利用者からの些細な意見でも蔑ろにすることなくしっかり職員で共有し、必要時には他事業所と話し合う機会など作り、運営に反映することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 意見を求められてもいざとなるとうまく説明が出来なかった。  
 職員同士の意見をうまくまとめる工夫が出来ていない。  
 地域の方から意見が入ってきやすい環境も作らないとあちらから問いかけなどは見られないと感じた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 全スタッフが持っている意見が出せるように、ミーティングを活用する。どうしても意見がうまく出せない場合などは文章や個別で確認できる体制をとり話しやすい環境作りに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 2月16日 (木)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤・荻野・竹永・アミ・新川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	3人	2人	9人

前回の改善計画  
社内、社外での研修等は工夫しながら職員がなるべく参加できるようにしてスキルアップを目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果  
社内での研修は年度計画を立てるなどして参加することが出来た。参加が偏ってしまい、夜勤スタッフなどはまったく参加出来ないケースもありどのように全体で把握する必要があるのかを検討する必要がある。社外は責任者やケアマネージャーなど専門分野での研修参加は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	4	1	2	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	3	3	9
③	地域連絡会に参加していますか			2	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	4	2	1	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
社内でのWEBでの研修など参加する工夫をしながら必要な知識やスキルアップにつなげることが出来た。ヒヤリハットなど活用することでリスクマネジメントに努めた。技能実習生は日本語試験や介護の試験などありそれに取り組むべき職員同士が勉強を教え合うなどスキルアップにつながった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
職場外での研修は参加していったが、まだ職員1人1人に対して必要な研修に参加することが出来なかった。資格取得の研修を促すが、必要性なども分からないこともあったのか積極的な取り組む姿勢が少なく感じた。指示などで研修参加するよりは本人が参加したい意力を持たせる機会も必要だった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
研修に参加出来る職員はしっかり参加し、参加できなかった職員も資料や勉強会を通して確認し、個人のスキルアップに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 2月26日(日)

9. 人権・プライバシー

メンバー 鈴木・佐藤・熊谷・アミ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6人	3人	人	人	9人

前回の改善計画	信頼関係が築けた利用者様への配慮を忘れないように職員一人一人が自覚を持って対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者への配慮についてなどミーティングを通して説明など行い、ある程度対応は出来ていたと思う。ただ急な場面など配慮を忘れがちになり、入浴時の声かけなど大きな声でかけてしまい配慮が足りなかったと感じることもあった。技能実習生だけでなく現任職員にも言葉使いについて再確認する必要があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9				9
②	虐待は行われていない	9				9
③	プライバシーが守られている	7	2			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	3	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	3			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束については研修の取り入れもそうだが、ミーティング等でどのような行為が身体拘束となるか、レッド以外でもグレーな対応についても皆で話し合いを行うことで身体拘束以外の方法を見つけて対応することが出来た。</p> <p>虐待もWEB研修などで参加し防止に努めることができた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>プライバシーに関してトイレ誘導や入浴の声かけに関して大きな声で呼ぶなど配慮がかけていた部分があった。難聴の利用者への対応は大声になる為、配慮にかけていた場面もあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>身体拘束、虐待防止・プライバシーへの配慮といった研修を取り入れるだけでなく日々の介護に対してミーティングなどで振り返る機会を持って見直しを出来る体制を作っていく。</p>	